

PE に PMP 鬼金セミナーの PDU 取扱い

JSPE 教育部会

1. 鬼金セミナーの歴史

- JSPE では設立間もない 2001 年 10 月、東京目白で「CPD セミナー 鬼に金棒 PE に PM プロジェクトマネジメント」を開催し、各技術分野の“鬼”である PE に、さらに“金棒”としての PMP (Project Management Professional) 資格も持ってもらうためのセミナーを継続的に行うという企画を打ち出しました。
- この企画が好評を博したことから、2003 年 5 月には PMP 資格の発行団体である米国 PMI (Project Management Institute) の登録教育事業者 (REP : Registered Educational Provider) となり、以来 PMI から得られる最新情報や特典を活かして「鬼金 (おにきん) セミナー」を教育部会と企画部会の共同セミナーとして継続してきました。
- JSPE の「鬼金セミナー」ページに掲げている“鬼に金棒”のシンボルは商標登録こそ行っておりませんが、JSPE 独自の活動方針を示すものとして多くの会員に親しまれてきたものです。<https://www.jspe.org/education/onikin-seminar/>
(参考 : 2011 年発行 JSPE10 年史「鬼金セミナー7 歳 現在成長中」)



2. PMI REP 制度の変更

- 2020 年 3 月、PMI から従来の REP 制度を新たな“ATP : Authorized Training Partner”という制度に切り替えるという通知が全ての REP 登録事業者に対して行われました。
- JSPE では通知された内容と PMI が開催した説明ウエビナーでの確認事項を含め、3 月の理事会で対応を検討しました。
- ATP はどちらかというと、PMP 資格取得を保証する教育業者等を指向した制度のように見受けられ、JSPE が鬼金セミナーで行ってきた方向性とは異なるとも思われることから、**当面 ATP 制度の移行は行わない**こととしました。
- このため、今後 JSPE が実施する鬼金セミナーの資料等から REP マークが消えることとなります。

ATP 制度に関する PMI の公開資料

<https://www.pmi.org/-/media/pmi/documents/public/pdf/microsites/rep-and-atp-resource-center/authorized-training-partner-program.pdf?v=811862aa-29b2-4c5b-8f1f-36ccbd3f3d40>

ATP 制度に関する PMI 日本の公開資料

https://www.pmi-japan.org/news/PMI_ATP_Application_Guide_JPN_20200513.pdf

3. PMP 資格をお持ちの会員へ

従来、鬼金セミナーを受講された会員の方々には、REP 登録なので PMP 資格の PDU (継続教育時間単位) として PMI に申告できると説明して参りました。今回、PMI 側の制度変更により REP 登録の継続が

困難となったため、あらためて PMP ハンドブックおよび CCR ハンドブック等を確認したところ、次のように対処することといたしました。

- 鬼金セミナーに限らず、JSPE 教育部会が提供する CPD セミナー全般について、PMI の **Third Party Provider として、PDU 登録**を行って頂く。
- PMI が 5 年ほど前から推進しているプロフェッショナル育成のための教育分類“タレントトライアングル Talent Triangle”に賛同し、**CPD セミナー証には同分類に即した時間区分を参考表示**します。
- 鬼金セミナーを受講頂く方には原則として、PMBOK Guide の最新版を購入し、講義中常に参照頂く。

以上の要領で、**従来と変わらず PMI CCRS サイトでの PDU 登録を行える**ことを確認しております。

PMP ハンドブック

<https://www.pmi.org/-/media/pmi/documents/public/pdf/certifications/project-management-professional-handbook.pdf?v=3e51d9ed-4805-437d-aeca-c6efd2667494>

Continuing Certification Requirements (CCR) Handbook

<https://www.pmi.org/-/media/pmi/documents/public/pdf/certifications/ccr-certification-requirements-handbook.pdf>

PMI Talent Triangle

<https://www.pmi.org/-/media/pmi/documents/public/pdf/certifications/talent-triangle-flyer.pdf>

4. PMP 受験を予定している会員へ

従来、PMP 受験を目的として鬼金セミナーを受講された会員の方々には、REP 登録なので PMP 受験に必要な Contact Hour（受験前の必要指導時間）として PMI に申告できると説明して参りました。今回、PMI 側の制度変更により REP 登録の継続が困難となりましたが、**PDU 登録とほぼ同様の段取りで今後も対応できる**と考えております。

PMP Exam Content Outline

<https://www.pmi.org/-/media/pmi/documents/public/pdf/certifications/project-management-professional-exam-outline.pdf>

5. まとめ

- 「鬼金セミナー」ページから馴染みの REP マークが消えていることに不安を感じておられる会員の方々もおられるかと思いますが、JSPE としては鬼金セミナーを始めた時の目標を守り、今後とも PE 推進団体ならではの PMP 資格取得奨励を行っていく所存です。
- 本件については、PMI 側の情報が流動的でもあります。会員の方々でお気付きの点、入手されている情報などありましたら教育部会までご一報頂けますと助かります。

Education.2007@jspe.org

以上